

# Die Eiche

ディ アイヘ  
<http://www.idg-chiba.com>



Japanisch-Deutsche Gesellschaft  
der Präfektur Chiba  
〒274-0822 船橋市飯山満町 2-518-1  
清和会第2ワールドナースィングホーム内  
電話 047-461-9111 Fax 047-461-7010



▽ブッシュ武官が日本語で「ドイツ軍人の監視に当たった西郷寅太郎中佐（当時、収容所長）もスペイン風邪で亡くなった。ドイツ兵だけでなく日本の軍人も偲びたい」と、慰霊祭への感謝も併せて述べた。

来賓の船橋市長（代理・山崎健二副市长）、習志野市長（同・金子正博社会教育課係長）の挨拶があり、再び、千葉女子高オーケストラ部員による小太鼓が響き、管楽器が鳴る。軍人葬送歌「戦友」を合唱団が唱和し、銃弾に倒れた友への思いを馳せた歌が葉を落とした木立に流れた。

## 荘重な調べに 新しい“歴史”を刻んで 「ドイツ軍人慰霊祭'15」執り行う

「ドイツ軍人慰霊祭」は今年、新しい歴史を刻んだ。11月15日朝の船橋市営霊園は、前夜来の雨に煙っていた。慰霊祭開会1時間半以上前から濃紺の制服姿の女子高校生が集まってきた。県立千葉女子高（千葉市稲毛区）オーケストラ部員75人だ。大小の楽器を抱えて、時折傘越しに空を心配そうに見上げる。

### 千葉女子高オーケストラ部、感動的に演奏

定刻午前11時少し前、杉田房之・協会事務局長が開会の辞を告げる頃、雨があがっていた。同校・山岡健先生の指揮で、生徒たちによるドイツ国歌の前奏が始まった。習志野第九合唱団有志12人の歌声が続く。コントラバス、チューバ、ファゴットの低音にバイオリンやビオラなどが加わり合唱の歌声と見事なハーモニーを奏でる。静かに、厳かに。ドイツ大使館のC・ブッシュ武官（空軍大佐）、M・ライボルト武官補佐官（陸軍中佐）の敬礼の手が上がり、140人近い参列者も思わず襟を正す。

「追悼慰霊の言葉」で宗宮好和会長は習志野俘虜収容所の「ユリウス・リュアース水兵の孫娘のレポートを今年協会で翻訳しましたが、将来もここで亡くなられた兵士の親族のことを報告できたら」と述べた。

「献花」で、千葉女子高の生徒たちは自ら大きな白菊の花束を慰霊碑に供えて、参列者とともに頭を垂れた。同校は定期的にドイツへ演奏旅行をしているのが縁で、山岡先生が演奏をかって出してくれた。オーケストラ部長の横山春花さん、副部長の上山真衣さん=2年生=は「とても感激しました。来春のドイツ旅行でこの慰霊祭を伝えて日独の交流に尽くしたいと思います」と声を揃えた。日独交流史を研究する船橋市の東京学芸大生、小泉麻衣さんも「慰霊祭を知らない人がまだ多い。卒論に生かします」と話していた。

「献花」で、千葉女子高の生徒たちは自ら大きな白菊の花束を慰霊碑に供えて、参列者とともに頭を垂れた。同校は定期的にドイツへ演奏旅行をしているのが縁で、山岡先生が演奏をかって出してくれた。オーケストラ部長の横山春花さん、副部長の上山真衣さん=2年生=は「とても感激しました。来春のドイツ旅行でこの慰霊祭を伝えて日独の交流に尽くしたいと思います」と声を揃えた。日独交流史を研究する船橋市の東京学芸大生、小泉麻衣さんも「慰霊祭を知らない人がまだ多い。卒論に生かします」と話していた。

慰霊祭でこれほど大規模な演奏が加わり、参列者が若者も含めて120人を超えるのは異例。「感動的な慰霊祭だった」「すばらしいイベント」（ライボルト中佐）などの声が参列者から相次いだ。

↓ 記念の集合写真



## 登美の丘ワイナリーに見る H・ハムが伝えたドイツの技法 —バス旅行 in 甲州 '15—

紅葉の甲州路を辿る恒例の日帰りバス旅行は wunderbar!——。10 月 31 日、会員・家族ら 32 人が参加して、習志野俘虜収容所の捕虜でもあったドイツ人が指導したワイナリーや時速 500km 超のリニアモーターカー実験線、武田信玄<sup>ゆかり</sup>所縁の名刹・恵林寺を巡った。中央高速道“名物の渋滞”にも遭ったが、幹事長、須古正恒常務理事 2 度の下見と、幹事・小野浩理事のお世話で予定の時刻ピタリ、ピタリの旅だった。

午後 2 時半、登美の丘ワイナリー（山梨県甲斐市）着。早速、安田善広・マネジャーからプロジェクターによる説明を聞く＝写真、下。



1909(明治 42)年以來の伝統を継ぐ醸造所は、近代的なワインづくりのため 1912(同 45)年、ドイツから醸造技師、ハインリッヒ・ハム(Heinrich Hamm 1883-1957)=写真、右=を招く。29 歳のハムにブドウ栽培から醸造までワイン造りの技術全般の指導を仰いだ。当時、



日本でも猛威を振るっていたブドウの大敵フィロキセラ対策が急務だった。米大陸に生息の昆虫で、ブドウの根や葉に寄生し枯死させる。欧州では、耐性のあるアメリカ産の木を接木して成功し

＜ハムが教えた接木法＞ た。「ハムはこの台木を携えてシベリア鉄道で来日し接木法を指導したのです」↑

と、安田さん。日本は高温多湿で、株仕立てのドイツ式栽培が適さないため、ハムは棚仕立てと、垣根仕立ての栽培を指導した。1913(大正 2)年だった。

しかし、翌年に第一次世界大戦が勃発、ハムは滞日 2 年でドイツ陸軍の将校として青島に召集される。捕虜として習志野収容所で過ごした後、1920(同 9)年にラインヘッセンのエルスハイムに帰国。ブドウ栽培の技術・品種改良を重ねて名誉市民第一号に選ばれた。

日本での指導半ばで帰国したハムは「自分がかって送った 1913 年産の日本ワインと再会する。彼は『エルスハイムに帰って見つけた日本の数本のワインはまだ輝きがあり、とてもおいしかった』と誇らしげに記録している」(習志野市教委編「ドイツ兵士の見た NARASHINO」)。



秋の日差しが強い登美の丘。会員たちは標高 600m、25 ㍎に広がる斜面(写真右)

で、ハムが伝えた接木や棚や垣根仕立てのブドウに見入っていた。この丘は雨が年間 1100mm(日本の平均 1600mm)と少なく、日照時間が長い。寒暖の差が 10℃以上と大きく、良質なブドウ栽培の条件が揃っているという。このワイナリーはシュロス・フォルラーツ(Schloß Vollrads)と 1982 年に姉妹ワイナリー提携を結ぶなどドイツとの交流も盛んだ。会員たちは醸造所などを見学しワインのティスティングも楽しんだ。

### ＜時速 500km のリニア撮影に挑戦＞

ワイナリー見学に先立ち、親子連れで賑わう「リニア見学センター」(同県都留市)を訪れた。一瞬で走り抜ける車体にシャッターが「間に合った」「失敗だ」と、童心に帰ったかのような会員たちも。

信玄の墓がある恵林寺(甲州市)では、京都の西芳寺(苔寺)、天龍寺とともに夢想国師によるという回遊式庭園の紅葉や幽玄なたたずまいに時を忘れた。

帰路、甲斐の山々に夕闇が迫る。その彼方にシルエットのように浮かんだ富士山に、車内からため息が漏れていた。

【募集】A: 千葉県日独協会のロゴマーク B: 設立 20 周年記念『千葉県日独協会の歩み Die Eiche 総集編(Ⅱ)』の表紙のデザイン当協会は 2016(平成 28)年に設立 20 周年を迎えます。これを記念して上記 A、B を募集します。応募資格: 会員とその家族、& 会員推薦の方 応募の条件: 応募者自身のオリジナルであること。採用作品の権利は当協会に属すること。A は日独友好を象徴するもの。B は Eiche(ドイツ栂)がモチーフに入っていることが望ましい 応募締切: 2016 年 2 月末必着 E-mail: info@jdg-chiba.com へ 発表: 同 3 月末、本人へ連絡 謝礼: 各 2 万円 審査: 当協会に設置する審査委員会 ご応募を心からお待ちしています。(会長、宗宮好和)





## ドイツと私

## 2人の師に励まされて

木戸 芳子

「ドイツ」という国が私の心に響き始めたのは、小学校の音楽の授業がきっかけでした。ベートーヴェンの「月光」の曲が教室中に広がり、繰り返し流れてくるそのメロディーは今でも耳に残っています。ドイツへの関心はおのずと音楽に向かったものの、ドイツの音楽に浸るところまではいきませんでした。

それが、入学した高校で思いがけなく第2外国語としてドイツ語を選択したことがドイツの音楽、文学、哲学に触れるきっかけを作ってくれました。この都立高校では第2外国語も選択できたのです。

ドイツ語担当の横山靖先生はカントが専門の研究者で、教育熱心な方でした。夏休みも返上し、大学入試をドイツ語で受験する私たち生徒のために、特訓をしてくださいました。ヤスパーズ、トーマス・マン、ゲーテ、ハウプトといった哲学者、作家の作品の抜粋を読みました。のちに東京理科大学の教授になられ、『独文解釈の秘訣』（郁文堂）を出された先生は「構文を徹底的に理解せよ」と言っておられました。

受験勉強中に、もうひとつ忘れられない思い出があります。私は毎日、NHK のドイツ語ラジオ講座を聴き、添削問題を解いては投函していました。あるとき、もどってきた添削に、「いつも頑張っていますね!」といった意味の励ましの文言がありました。思いがけない温かいお言葉は、孤独な受験生であった私の胸に奥深く沁み渡りました。講座のご担当は平尾浩三先生でした。こうした出会いがなければ、独文に進学することも、ドイツ語の教師になることもなかったでしょう。

その後、日本とドイツで、多くの尊敬すべき先生方と出会い、計り知れないほどのことを学びました。しかし先生方のご恩に何ら報いることなく、いつの間にか年齢をとってしまい忸怩たる思いです。



＜はじめてドイツを訪れた思い出のハイデルベルク：（「哲学者の道」からネッカー川を望む＞

ドイツの地を初めて踏んだのは20代前半で、青少年交流協会派遣の短期研修でした。フランクフルト空港に降り立ったときの、新鮮な何ともわくわくした感覚が、遠い記憶の彼方から、甦ってきます。ふと気づいた葉巻の香り、大柄なドイツ人の大幅な足どり、聞こえてくるドイツ語の独特な響き、夕べの街に鳴り渡る教会の鐘の音、記憶は走馬灯のように頭をよぎります。

現在、職場の授業では、できるだけ過去から今日に至るドイツのさまざまな事情に触れるよう努めています。これからもドイツ語と歩んで参りたいと思っています。

デュッセルドルフ市長随員と  
会長ら会談 交流強化を確認

デュッセルドルフ市長に昨年就任した Thomas Geisel 氏（社会民主党）が10月19日、随員10人と姉妹交流のパートナーである千葉県を訪問、森田知事と会談した。同市長はこの5月、日本デーに参加した森田知事とパートナー覚書交換10周年を祝っているが、今回は千葉に一泊、翌日は柏の葉（スマートシティ）視察後、ドイツ大使館を表敬、21日は富士フィルムなどデュッセルドルフに進出している企業を訪問した。

当協会は宗宮好和会長、橋口昭八副会長、杉田房之事務局長が23日、随員の経済振興局 Jessica Dedic 国際業務課長、Benjamin Leonhardt 日本担当と千葉県国際課鎌形課長、笹生室長らと会談した。当会のデュッセルドルフ市―千葉県交流に沿った活動を説明、デ市側は当協会の支援により深い関係を築くことができるので今後も協力をお願いしたいとの希望を表明し、2016年に当協会が予定しているドイツ旅行にはできるだけ支援をしたいと述べていた。NRW州とデュッセルドルフ市は来年70周年を迎えるという。（橋口 昭八）

いちかわドイツデー、習志野  
ドイツフェア 相俣にて開催

市川市はローゼンハイム市と姉妹都市契約を結び昨年10周年を迎えたが、10月4日コルトンプラザで「いちかわドイツデー」が開かれた。秋晴れの日曜日、18,000人の若い家族連れで賑わった。ローゼンハイムからビールとソーセージが贈られ、ドイツ気分で盛り上がっていた。5年目を迎えた習志野ドイツフェア（写真右）は10月17、18日の2日間、JR 津田沼駅前公園で開かれ、過去最高の27,800人がソーセージ、ビールを楽しんだ。当協会は両会場で「千葉県日独協会の活動」と「ドイツと千葉県」の展示を行い、協力した。



## ー中世ドイツの旅情誘うー 古城街道を往く

“協会創立 20 周年記念旅行 ‘16”概要決まる



＜訪問する 11 世紀の Schloß Kaiserburg HP より＞

千葉県日独協会は来年、創立 20 周年を迎える。これを記念してドイツ研修旅行を実施することになり、旅行委員会で検討中の旅程が固まった。会員・家族などへ募集を呼び掛ける。多くの領邦国家時代が長く、地方に独特な文化を今日に残している南ドイツを巡り、豊かな歴史に触れる。

訪問地はユニークな地方都市を精選した。3 都市は連泊というゆとりある日程になっている。旅行直前には、訪問地の歴史や文化、見どころなどの「事前勉強会」を実施する。会員多くの参加をお待ちしたい。 ↗

### 旅行の内容 & 募集要項

- I・旅行の時期：2016 年 5 月 20 日(金)～29 日(日)
- II・コース：デュッセルドルフ(2 泊)→マンハイム→ハイデルベルク(泊)→シュヴェービッシュ・ハル→ローテンブルク(泊)→ニュルンベルク→バンベルク→クルムバッハ(2 泊)→コーブルク→バイロイト→レーゲンスブルク→ケルハイム→ミュンヘン(2 泊)  
デュッセルドルフとミュンヘンでは、希望者による 1 日ツアーを用意する。
- III・募集人数：25～35 人。20 人以下は中止の予定。
- IV・旅行費用：1 人・294,000 円(1 部屋・2 人)。  
燃油サーチャージ、空港諸税、毎朝食、昼食 5、夕食 3 回を含む。ホテルは三ツ星以上。シングル泊希望者は追加料金 39,000 円。
- V・参加申込：別送の返信用はがきで、2016 年 1 月 31 日(日)まで。参加者人数を 2 月初旬に決定する。
- VI・その他：①国際的な治安状況やドイツ国内の諸情勢により旅行を中止する場合がある②旅程の途中、または離脱も可能(但し、参加費用は同じ)。

### 〔問合せ先〕

千葉県日独協会理事、小野 浩

電話 043-277-3400

E-mail: [hiroshi-ono@paw.hi-ho.ne.jp](mailto:hiroshi-ono@paw.hi-ho.ne.jp)

**参加者大募集!!**

| 催しもの                                                                                            | 開催日    | 時間    | 場 所                | 講 師、内 容 な ど                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|--------------------|------------------------------------|
| 2016 年新春講演会                                                                                     | 1/23 土 | 13:10 | 千葉市生涯学習センター        | 千葉県日独協会創立 20 周年記念行事                |
|                                                                                                 |        | ～     | =千葉市中央区弁天 3-7-7    | 講師：ドイツ連邦共和国大使館政務部、フローリアン・          |
|                                                                                                 |        | 14:45 | 電話 047-207-5811(代) | イエーガー(Florian Jäger)氏。             |
|                                                                                                 |        |       |                    | 演題：「難民問題、テロとの戦い。EU におけるドイツの役割」(仮題) |
| ※シリア、アフガニスタンから押し寄せる難民を、ドイツは何故、そしてどのようにして受け入れようとしているのか。                                          |        |       |                    |                                    |
| ドイツの国民感情は。また、イスラム国などの過激な集団によるテロ続発に対してどう立ち向かおうとしているのか。                                           |        |       |                    |                                    |
| EU の中心的役割を担うドイツの苦悩と、使命感はいかに。欧米に比べて、難民問題への取り組みが消極的に映る日本にとって「世界の中の日本」考えるうえで、示唆に富んだ講演になるものと、期待される。 |        |       |                    |                                    |

### 編集後記

◇「ドイツ軍人慰霊祭」に新たな歩みが加わった。県立千葉女子高生の参加だ。オーケストラによる力強い演奏だけでなく、若い生徒たちに慰霊祭の意思が伝わり、日独の交流に新しい芽が出そうだからだ。彼女たちは来春 3 月から 4 月にフランクフルト、ワイマール、ライプチヒ、バイロイト、ニュルンベルク、ローテンブルクへ 9 回目の演奏旅行に出る。「感動した思いをドイツに伝えたい」と述べた生徒たちの交流はどのようになるのだろうか。◇この慰霊祭を機に創立された当協会は来年 20 周年。新春講演会、ドイツ研修旅行など記念行事を企画。多くの会員の皆さんと、協会の新しい歩みを刻みたいと願う。(M.T.)